

令和6年度(2024年度)経済環境常任委員会管外視察の概要

- 1 視察日 令和6年(2024年)11月5日(火)～7日(木)
- 2 視察者 経済環境常任委員会(6名)
西山宗孝(委員長)、城戸 淳(副委員長)、城下広作、
吉永和世、河津修司、立山大二郎
- 3 視察先 ① 肥後銀行台北駐在員事務所(台北市)
② 熊本・台湾ビジネスサポートデスク(台北市)
③ 工業技術研究院(新竹県竹東鎮)
④ tretec台湾(台中市)
⑤ 南部サイエンスパーク管理局(台南市)
⑥ TSMC南科再生水工場(台南市)
- 4 視察目的 台湾企業の誘致や県内企業の台湾進出支援など熊本・台湾間の経済交流促進及び今後の半導体製造企業集積を見据えた地下水保全のため、関係機関等を視察し、委員会審議の参考とする。

5 視察の概要

(1) 肥後銀行台北駐在員事務所(台北市)

肥後銀行台北駐在員事務所は、台湾現地の情報やネットワークの提供により、顧客の輸出入や進出ニーズ等の課題解決を支援することを目的に令和5年6月に開設され、企業の台湾進出及び貿易取引拡大等に対するサポートのみならず、観光分野等各種産業分野での交流促進も手掛けている。

今回の視察では、TSMCの進出等を契機に同事務所が本県と台湾との経済交流促進に果たしてきた役割を聞き取りとともに、意見交換を行った。

肥後銀行台北駐在員事務所からは、台湾の半導体製造企業の進出にあたり、最近では地価や通勤時間等コスト面が重視されてきていること、半導体製造後工程以降のプロセスを担う企業の誘致が今後重要であるなど、TSMC等進出企業のニーズを踏まえた企業誘致のあり方について、有意義な情報を広く収集することができた。



(2) 熊本・台湾ビジネスサポートデスク（台北市）

熊本・台湾ビジネスサポートデスクは、熊本・台湾双方の企業・団体等からの相談にワンストップかつきめ細かに対応するために、県が令和5年7月に台北市に開設した窓口である。

今回の視察では、同デスクがこれまで熊本・台湾双方からの様々な相談に対応してきた実績の説明がなされ、併せて意見交換を行った。

同デスクからは、台湾の歴史・現状及び熊本との関係、開設から本年10月まで345件の対応実績があり、その内容は熊本での飲食店の出店、視察団の受入等多岐にわたるなどの説明があり、今後の本県と台湾における活発な経済交流に向けた有意義な情報を広く収集することができた。



(3) 工業技術研究院（新竹県竹東鎮）

工業技術研究院（ITRI）は、台湾經濟部が1973年に設立した財団法人であり、台湾経済の発展を支える世界有数の産業技術系シンクタンクである。約6,000人の研究員を擁する大規模な研究機関であり、これまでの取得特許件数は32,000件である。また、これまで上場企業を含む300社以上がスピンオフの形で事業化しており、TSMCもその一つである。

今回の視察では、台湾半導体のパイオニアであり、様々な産業の発展に貢献してきた同研究院の業績や関係する先端技術製品等を展示した博物館を見学し、その後事業説明の聴取や意見交換を行った

同研究院からは、今後注力すべき分野としては、高齢化及び人口減少に対応するためサービス型ロボットの研究開発、農業関連の先端技術の研究等であるとの説明があり、今後台湾政府や産業界が展開を考えている半導体等先端技術開発に関する戦略等について、有意義な情報を広く収集し、これからの台湾企業誘致の参考とすることができた。



(4) trettec 台湾（台中市）

trettec 台湾は、本県に本社のある株式会社マイスティア（1990 年設立。資本金 5,000 万円。従業員数 1,750 名。）の台湾でのグループ企業として、2017 年 5 月に設立された。主な事業内容は、精密機械関連の受託保守業務等現場サービス、翻訳・安全管理、精密機械受託据付業務及び人材派遣等である。

今回の視察では、trettec 台湾の台湾進出・事業展開の経緯、課題点及び今後の展望等を聴き取り、意見交換を行った。

同社からは、JASM 第 3 工場の進出等半導体製造企業の集積において本県が有する強みや、半導体製造の後工程が前工程に比べて工業用水を多く必要とせず多数の台湾企業の進出が見込まれること等について説明があり、TSMC 等台湾企業の有する先進的な技術力、組織風土及び進出にあたって求められる人材等、今後さらなる半導体製造企業集積に向けた企業誘致に関する有意義な情報を広く収集することができた。



(5) 南部サイエンスパーク管理局（台南市）

南部サイエンスパーク管理局は、1995 年に設立された南部サイエンスパークを管理する政府機関で、パーク内の企業にインフラや行政サポートを提供している。また、パーク内の企業への水の供給や排水の検査等も実施している。

今回の視察では、パーク内の各企業の給排水管理の取組等について、執行部の機関である熊本県地下水保全推進本部と合同で聴き取り及び意見交換を行った。

南部サイエンスパーク管理局からは、入居企業が効率的に事業を推進することができるように、工場建設等進出の初期の段階から従業員の子供の教育に至るまで、ワンストップサービスを提供していること、敷地内には入居企業 275 社、就業者数 9 万人以上が集まっており、住宅エリアや学校、ショッピングモールも完備していること等の説明があり、今後県内での半導体製造企業の集積を見据えた工業団地の管理のあり方等について、有意義な情報を広く収集することができた。



(6) T S M C南科再生水工場（台南市）

T S M C南科再生水工場は、T S M Cが水資源消費を削減し、利用効率を高めるために、南部サイエンスパーク台南園區に設置された再生水処理施設である。工場排水や生活排水を処理し、半導体製造に再利用可能な高品質な水を供給している。

今回の視察では、T S M C南科再生水工場における水資源不足への対応及び環境負荷軽減の取組について、執行部の機関である熊本県地下水保全推進本部と合同で聴き取り、意見交換及び工場敷地内の見学を行った。

同工場からは、民間企業が工業排水を再生して半導体製造に利用する世界初の工場であり、去年の渇水に伴い政府による給水制限の措置が取られた時も操業にはほとんど影響がなかったこと等の説明があり、委員会・執行部双方における今後の地下水保全のための政策審議に役立つ有意義な情報を広く収集することができた。

